



平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月7日

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所 大
コード番号 3361 URL http://www.toell.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中田 みち
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理部門長 (氏名) 山中 正幸 TEL 045-592-7777
四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第1四半期の連結業績（平成24年5月1日～平成24年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	5,649	3.4	494	44.6	469	47.8	265	59.1
24年4月期第1四半期	5,462	6.8	342	△17.7	317	△20.1	167	△12.4

(注) 包括利益 25年4月期第1四半期 250百万円 (41.6%) 24年4月期第1四半期 176百万円 (15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年4月期第1四半期	円 銭 13.70	円 銭 —
24年4月期第1四半期	8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年4月期第1四半期	19,993	9,996	50.0	515.12
24年4月期	21,121	9,979	47.2	514.23

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 9,996百万円 24年4月期 9,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想（平成24年5月1日～平成25年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,300	7.3	670	21.0	610	22.5	340	27.3	17.52
通期	25,000	5.5	2,000	25.5	1,860	25.4	1,000	38.1	51.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

平成25年4月期の通期の業績予想につきましては、平成24年6月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、第2四半期連結累計期間の業績予想については、平成25年4月期より業績目標管理を年次のみで行っており、且つ年始から年央におけるLPガスの輸入仕入価格であるCPの例年になく異常な変動等を鑑み、前回開示を見合わせておりました。しかしながら、当該業績予想については、投資家の皆様の投資判断に資する有用な情報のひとつであることから、当第1四半期連結累計期間の実績等を踏まえ本日付で追加公表することといたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年4月期1Q	19,415,040株	24年4月期	19,415,040株
25年4月期1Q	8,755株	24年4月期	8,755株
25年4月期1Q	19,406,285株	24年4月期1Q	19,408,051株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災の影響が一巡し、堅調な個人消費を背景に回復基調で推移しましたが、欧州危機や新興国の成長鈍化に加えて円高基調となるなど先行き不透明な状況が続く輸出や設備投資には製造業を中心に減速感が見られました。

このような状況の下、当社グループはL Pガス事業では安定成長事業として事業基盤の確保に努め、又、C P価格（輸入仕入価格）が下方推移したことにより、堅調な利益を出すことができました。ウォーター事業では新規顧客契約と拡販に努めた結果、ボトルの出荷本数は12リットルボトル換算で170万本となり、前年同四半期比で9.3%増の出荷となりました。

セグメント別の概況は次の通りです。

① L Pガス事業

原子力発電所への不安と不信が払拭されない限り、電力の供給不足懸念は解消されず、国の基幹エネルギーはガス体エネルギーや、新エネルギーへの重要性と期待が高まっております。

こうした背景の中、L Pガスは分散型エネルギーとしての利便性が高く、太陽光発電や燃料電池とL Pガス供給を組合せたミックス型の新エネルギー供給システムとして最適であり、需要拡大の大きな機会として取組んでまいりました。

一方、高齢化社会の到来で新築住宅建築の伸びに大きな期待が持てない中、既存同業者間の顧客確保競争は厳しくなっておりますので、業務用顧客開拓を中心に顧客基盤の拡充に総力を挙げてまいりました。

当第1四半期の平均のC P価格（輸入仕入価格）は、前年同四半期に比べ65ドル/トン低下し827ドル/トンで推移したことと、業務用顧客開拓を進めた結果供給密度が上がり、物流コストの削減に繋がったことにより、営業利益は前年同四半期に比べ増益となりました。

その結果、売上高は4,057百万円（前年同四半期比0.7%増）、管理部門等配賦前の営業利益は533百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

② ウォーター事業

ウォーター事業は「ハワイ」「アルピナ」「北アルプスから8リットル」と3ブランドのバリエーションにより、あらゆる需要層のニーズに応える品揃えが整いました。前年同四半期には震災による特需も一部ありましたが、現在の市場はボトルウォーターに対する需要そのものが高まっております。ボトルウォーターは、飲料水市場では上水道とペットボトル市場に次ぐ三番目の市場になりつつあり、今後も大幅な需要の増加が期待されています。このボトルウォーター市場の成長性を取り込んだことで、売上及び営業利益は大幅な増加となりました。

その結果、売上高は1,591百万円（前年同四半期比10.9%増）、管理部門等配賦前の営業利益は438百万円（前年同四半期比51.0%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,649百万円（前年同四半期比3.4%増）となり、営業利益は494百万円（前年同四半期比44.6%増）、経常利益は469百万円（前年同四半期比47.8%増）、四半期純利益は265百万円（前年同四半期比59.1%増）となりました。

平成24年6月12日に発表しましたとおり、当社の子会社でアメリカハワイ州にありますTOELL U. S. A. CORPORATIONにおいてボトルウォーター充填製造工場の建設に着手いたしました。建設費用は8億円で平成25年5月完成の予定です。8リットルワンウェイボトルを中心とする「ハワイウォーター」ブランドとして日本及び東南アジアへの輸出を計画しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,128百万円減少し、19,993百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金966百万円の減少等により、1,215百万円減少し、固定資産は建物及び構築物235百万円の増加等により、89百万円増加しました。負債は、支払手形及び買掛金が926百万円減少したことにより1,145百万円の減少となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、9,996百万円となり、自己資本比率は50.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月期の通期の業績予想につきましては、平成24年6月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。気候変動やC P価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,093,425	2,045,883
受取手形及び売掛金	3,527,137	2,561,021
商品及び製品	1,070,346	983,373
仕掛品	1,956	5,328
貯蔵品	102,622	89,787
その他	331,419	222,092
貸倒引当金	△25,811	△22,278
流動資産合計	7,101,096	5,885,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,628,318	2,863,340
機械装置及び運搬具（純額）	1,343,899	1,292,336
土地	5,152,873	5,163,283
リース資産（純額）	1,829,249	1,792,601
その他（純額）	204,437	129,255
有形固定資産合計	11,158,777	11,240,818
無形固定資産		
営業権	1,106,808	1,108,483
その他	77,784	89,098
無形固定資産合計	1,184,592	1,197,581
投資その他の資産		
その他	1,767,733	1,763,248
貸倒引当金	△105,648	△106,290
投資その他の資産合計	1,662,084	1,656,958
固定資産合計	14,005,454	14,095,358
繰延資産	15,201	12,505
資産合計	21,121,751	19,993,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,359,695	1,433,112
短期借入金	120,000	760,000
1年内返済予定の長期借入金	956,279	832,213
未払法人税等	407,689	149,796
賞与引当金	144,340	72,890
役員賞与引当金	47,100	15,000
その他	2,861,079	2,813,846
流動負債合計	6,896,182	6,076,858
固定負債		
社債	680,000	580,000
長期借入金	1,177,788	994,141
長期未払金	85,444	81,933
退職給付引当金	255,389	252,821
役員退職慰労引当金	492,554	498,590
その他	1,555,078	1,512,132
固定負債合計	4,246,254	3,919,617
負債合計	11,142,437	9,996,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,282	555,282
資本剰余金	1,272,666	1,272,666
利益剰余金	8,089,276	8,122,224
自己株式	△2,988	△2,988
株主資本合計	9,914,237	9,947,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,077	49,409
その他の包括利益累計額合計	65,077	49,409
純資産合計	9,979,314	9,996,595
負債純資産合計	21,121,751	19,993,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)
売上高	5,462,810	5,649,000
売上原価	3,188,342	3,200,813
売上総利益	2,274,468	2,448,187
販売費及び一般管理費	1,932,376	1,953,518
営業利益	342,091	494,669
営業外収益		
受取利息	6,103	1,393
受取配当金	3,667	3,650
貸貸収入	6,885	8,206
スクラップ売却収入	8,094	6,569
その他	10,157	9,699
営業外収益合計	34,908	29,519
営業外費用		
支払利息	30,598	28,782
為替差損	13,395	10,782
その他	15,502	15,245
営業外費用合計	59,497	54,810
経常利益	317,502	469,379
特別利益		
固定資産売却益	—	596
特別利益合計	—	596
特別損失		
固定資産売却損	—	34
特別損失合計	—	34
税金等調整前四半期純利益	317,502	469,941
法人税、住民税及び事業税	88,650	145,858
法人税等調整額	61,768	58,258
法人税等合計	150,419	204,117
少数株主損益調整前四半期純利益	167,083	265,823
四半期純利益	167,083	265,823

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167,083	265,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,642	△15,667
その他の包括利益合計	9,642	△15,667
四半期包括利益	176,725	250,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,725	250,155
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	L P ガス事業	ウォーター事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,027,427	1,435,382	5,462,810	—	5,462,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,522	—	11,522	(11,522)	—
計	4,038,950	1,435,382	5,474,332	(11,522)	5,462,810
セグメント利益	506,116	290,642	796,759	(454,668)	342,091

(注) 1. セグメント利益の調整額△454,668千円には、セグメント間取引消去△11,522千円と全社費用△443,145千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	L P ガス事業	ウォーター事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,057,567	1,591,433	5,649,000	—	5,649,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,162	—	11,162	(11,162)	—
計	4,068,730	1,591,433	5,660,163	(11,162)	5,649,000
セグメント利益	533,086	438,955	972,042	(477,372)	494,669

(注) 1. セグメント利益の調整額△477,372千円には、セグメント間取引消去△11,162千円と全社費用△466,209千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。